

トランプが、子供のガンやエイズを「ごく近い将来」治すと 約束

トランプがオハイオ州の数千の支持者の集会で強調する

【訳者注】トランプによるこの約束は、「ディスクロージャー」すなわち宇宙の秘密（宇宙人の知恵）の開示の一端だと思われる。この治療の話題が、デイヴィド・ウィルコックとコーリー・グッドの対話などで、反重力やフリー・エネルギーなどと一緒に、高次元の秘密の開示として出てくるから、間違いないだろう。

以下は私の想像なので、信じていただく必要はないが、私の固い信念であるとおきたい。これは、我々の知っている西洋医学などの延長にある治療法ではないだろう。それとは原理的に全く異なった治療、すなわち、何度かここで取り上げたことのある、ホーリスティックなもの、宇宙を「全体」としてそこに調和し一体となる治療法であろう。この全体 whole という観念は、加算の全体 total でなく、有機的全体である。この whole は語源的にも、heal（癒す）や health や holy（神聖）wholesome（精神的健康）とつながっており、make whole と言えば heal という意味になる。

Holistic な医療家が、次々と暗殺されているという情報があったから、これが悪人どもから見て許せない、「本物」であることがわかる。特に癌は、有機的統一体の中で、ある細胞が謀反を起こし、それが全体に及んで、有機体と共にその者自身も滅びる病気であるから、癌という病気は、「彼ら」純粹悪人どもが、今この地球上に起こそうとしていることと、構造的に同じである。したがって、この医療法は、これを使う者の人間性や精神構造に結びついているから、（ここで言われている）悪人側の代表であるジョー・バイデンが（トランプの真似をして）これを用いても、それは花咲か爺のいじわる爺さんが、よい爺さんの真似をして、借りてきた犬に土を掘らせるようなものではなかろうか？ もちろんこれは癌だけでなく、人間の病気のすべてだと言っており、もしこれが実現すれば、人間革命の巨大な一歩になるであろう。

Sarah George, @NeonNettle

August 2, 2019



ドナルド・トランプ大統領は、オハイオ州シンシナティの集会で、エイズや子供のガンを「近い将来」治すと、約束した。

「我々は、科学と医学の新しい境地を切り開くだろう」と大統領は言った。

「彼らが何をやろうとしているか、私にはわかる。彼らは私に見せてくれる。それは、我々が今日、わが国でやろうとしていることだ。」

「これまで、そのようなものは何もなかった。このアメリカで、エイズの流行のようなものは、ほどなくして、消滅するだろう。そして子供のガンも、もうすぐ治療できるようになるだろう。」



トランプが、2016年の選挙ライバルだったヒラリー・クリントンの名をあげると、聴衆は一斉に「彼女を閉じ込めろ」を連呼した。

トランプは、6月の選挙戦キックオフのときも、同じような約束をした。そのときも彼は、「非常に多くの問題を解決し、ガンや他の病気を含め、非常に多くの病気に治療をもたらす」ことを誓った。「そして我々は、日々に、ますますそこへ近づいているのだ」と言った。

この言葉はまた、2020年の出馬を希望するジョー・バイデンの、最近の約束と同じものでもある。

「私が大統領に選ばれたなら、アメリカを変えてしまう最も重要な一つのことを、あなた方は見るだろう。我々はガンを治療できるのだ」と、バイデンは宣言した。

しかし、この集会では「彼女を引っ込めろ」という連呼は起こらなかった。

しかし The Hill（政治専門紙）によれば、トランプが、2016年の競争相手ヒラリー・クリントンの名をあげたときには、群衆は「彼女を閉じ込めろ」を連呼したという。

トランプは、前の競争相手の名をあげ、彼女が、「嘆かわしい」deplorable という言葉を、トランプ支持者に用いたことに言及した。

「皆さんは、ヒラリーが〈嘆かわしい〉という言葉を使ったときのことを覚えているか？」と彼は言った。「〈嘆かわしい〉という言葉が、ヒラリーに敗北をもたらしたのだ。それは、このひん曲がったヒラリーにぴったりだった。まさにひん曲がった女だ。」

このあと、群衆は「彼女を閉じ込めろ」を合唱し始めた。これは、大統領の支持者たちが、2016年選挙で、共通して用いたリフレーンだった。

「共和党員が、毎日、わが国を建設しようと働いているときに、怒り狂った民主党は、アメリカを引き裂こうとしている。民主党は、今、我々が大切にしているすべてを拒否する4人の極左主義者によって、導かれている」と、トランプはオハイオの群衆に話した。

「わが国の貧困都市部に住むアメリカ人ほど、極左の破壊的アジェンダに高い代金を払った者はいない」と、トランプは言った。

トランプは、民主党の貧困都市部でのパフォーマンスを攻撃したが、エライジャ・カミングスのことは口にしなかった。これはボールティモア出身の黒人米議員で、市民権擁護者であり、トランプが最近非難していた。

[関連記事] 新しい乳がんのテストが、11 日間に、化学療法なしに、すべての浮腫の兆候を根絶 <https://neonettle.com/news/6403-new-breast-cancer-trial-eradicates-all-signs-of-tumors-in-11-days-without-chemo>

——以上